

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名					
病院名		洛南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	49.9	52.8	61.8
感染症	-	-	-	-
計	256	49.9	52.8	61.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,578,087
決算規模(千円)	1,298,673,359
標準財政規模(千円)	540,106,327
財政力指数	0.56803
経常収支比率(%)	94.4
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	15.9
将来負担比率(%)	270.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,611,598			
1 経常収益	2,609,193			
(1) 医業収益	1,528,970			
(うち修正医業収益)	1,497,602			
入院収益	1,139,640			
外来収益	350,414			
診療収入計	1,490,054			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	38,916			
(うち他会計負担金)	31,368			
(2) 医業外収益	1,080,223			
(うち国・都道府県補助金)	459,470			
(うち他会計補助・負担金)	611,889			
(うち長期前受金戻入)	3,842			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,405			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,713,489			
2 経常費用	2,632,904			
(1) 医業費用	2,573,312			
職員給与費	1,921,058	125.6	60.2	106.2
材料費	192,386	12.6	25.3	8.8
(うち薬品費)	149,595	9.8	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,167	0.5	11.6	1.4
減価償却費	90,749	5.9	9.0	14.3
経費	364,932	23.9	22.5	34.9
(うち委託料)	197,099	12.9	12.5	19.5
研究研修費	4,005			
資産減耗費	182			
(2) 医業外費用	59,592			
(うち支払利息)	1,533	0.1	1.2	2.4
(3) 特別損失	80,585			
損益				
経常				
純損益	-23,711			
累積欠損金	4,391,946			
経常収支比率	99.1		105.6	102.7
医業収支比率	59.4		85.1	60.7
修正医業収支比率	58.2		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	42.1		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	24.6		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	74.7		93.6	70.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,075,935
1 固定資産	2,566,380
(1) 有形固定資産	2,499,780
(2) 無形固定資産	14,931
(3) 投資その他の資産	51,669
2 流動資産	2,509,555
(1) 現金及び預金	1,956,478
(2) 未収金及び未収収益	543,175
(3) 貸倒引当金()	188
(4) 貯蔵品	10,090
3 繰延資産	-
負債合計	1,360,655
1 固定負債	668,676
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	635,676
(2) その他の企業債	28,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	596,240
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,876
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,829
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	411,404
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	95,739
(1) 長期前受金	234,089
(2) 長期前受金収益化累計額()	138,350
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,715,280
1 資本	25,716,728
2 剰余金	-22,001,448
(1) 資本剰余金	334,644
(2) 利益剰余金	-22,336,092
負債・資本合計	5,075,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	642,218	643,257
資本勘定繰入	-	-
計	642,218	643,257

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1460.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名			
病院名	与謝の海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,578,087
決算規模(千円)	1,298,673,359
標準財政規模(千円)	540,106,327
財政力指数	0.56803
経常収支比率(%)	94.4
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	15.9
将来負担比率(%)	270.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,212			
1 経常収益	13,212			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,212			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13,212			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,212			
2 経常費用	13,212			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	22.5	28.4
(うち委託料)	-	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	13,212			
(うち支払利息)	13,212	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,944,146			
経常収支比率	100.0		105.6	104.2
医業収支比率	-		85.1	81.4
修正医業収支比率	-		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	8,805	13,212
資本勘定繰入	98,993	148,491
計	107,798	161,703

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1460.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,284 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	344	88.8	88.8	91.8
療養	-	-	-	-
結核	6	25.0	28.0	9.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	57.0	27.9	4.1
計	354	87.3	87.1	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.2	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	44,940,120	
標準財政規模(千円)	24,723,039	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	38.5

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	14,859,307				
1 経常収益	14,824,458				
(1) 医業収益	13,263,772				
(うち修正医業収益)	13,046,701				
入院収益	7,801,629				
外来収益	4,661,874				
診療収入計	12,463,503				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	800,269				
(うち他会計負担金)	217,071				
(2) 医業外収益	1,560,686				
(うち国・都道府県補助金)	372,373				
(うち他会計補助・負担金)	575,802				
(うち長期前受金戻入)	509,391				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	34,849				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	14,459,288				
2 経常費用	14,403,188				
(1) 医業費用	13,494,140				
職員給与費	5,976,986	45.1	60.2	60.7	
材料費	3,875,258	29.2	25.3	24.9	
(うち薬品費)	2,595,529	19.6	13.3	12.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,279,729	9.6	11.6	11.7	
減価償却費	1,080,932	8.1	9.0	9.2	
経費	2,512,923	18.9	22.5	21.2	
(うち委託料)	1,092,268	8.2	12.5	11.9	
研究研修費	39,204				
資産減耗費	8,837				
(2) 医業外費用	909,048				
(うち支払利息)	136,258	1.0	1.2	1.3	
(3) 特別損失	56,100				
損益	421,270				
純損益	400,019				
累積欠損金	-				
経常収支比率	102.9		105.6	106.9	
医業収支比率	98.3		85.1	85.8	
修正医業収支比率	96.7		82.2	83.2	
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		11.3	9.7	
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.9	12.7	
他会計繰入金対総収益比率	5.3		11.2	9.2	
実質収益対経常費用比率	97.4		93.6	96.5	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	25,066,473	
1 固定資産	15,834,174	
(1) 有形固定資産	15,498,563	
(2) 無形固定資産	-	
(3) 投資その他の資産	335,611	
2 流動資産	9,232,299	
(1) 現金及び預金	6,619,446	
(2) 未収金及び未収収益	2,579,087	
(3) 貸倒引当金()	3,507	
(4) 貯蔵品	36,168	
3 繰延資産	-	
負債合計	12,317,646	
1 固定負債	8,367,280	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,380,567	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	986,713	
(7) 一ス債務	-	
2 流動負債	2,418,927	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,855	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	377,828	
(6) リ一ス債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	1,164,921	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	1,531,439	
(1) 長期前受金	5,789,678	
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,258,239	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	12,748,827	
1 資本金	5,049,163	
2 剰余金	7,699,664	
(1) 資本金剰余金	7,380,196	
(2) 利益剰余金	319,468	
負債・資本合計	25,066,473	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,106,668	792,873
資本勘定繰入	544,699	507,905
計	1,651,367	1,300,778

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院 大江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	40	83.1	82.0	85.5
療養	28	74.9	87.4	92.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	68	79.7	84.2	88.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.0	25.0	22.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	44,940,120	
標準財政規模(千円)	24,723,039	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	38.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	751,769			
1 経常収益	740,822			
(1) 医業収益	569,199			
(うち修正医業収益)	569,199			
入院収益	422,752			
外来収益	124,103			
診療収入計	546,855			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	22,344			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	171,623			
(うち国・都道府県補助金)	21,359			
(うち他会計補助・負担金)	73,618			
(うち長期前受金戻入)	44,828			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,947			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	733,866			
2 経常費用	732,605			
(1) 医業費用	677,095			
職員給与費	435,273	76.5	60.2	76.8
材料費	37,380	6.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	28,765	5.1	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,615	1.5	11.6	6.0
減価償却費	44,444	7.8	9.0	11.4
経費	158,537	27.9	22.5	31.5
(うち委託料)	54,703	9.6	12.5	14.5
研究研修費	998			
資産減耗費	463			
(2) 医業外費用	55,510			
(うち支払利息)	2,764	0.5	1.2	1.4
(3) 特別損失	1,261			
経常損益	8,217			
純損益	17,903			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		105.6	103.4
医業収支比率	84.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	84.1		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	9.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	91.1		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,066,473
1 固定資産	15,834,174
(1) 有形固定資産	15,498,563
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	335,611
2 流動資産	9,232,299
(1) 現金及び預金	6,619,446
(2) 未収金及び未収収益	2,579,087
(3) 貸倒引当金()	3,507
(4) 貯蔵品	36,168
3 繰延資産	-
負債合計	12,317,646
1 固定負債	8,367,280
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,380,567
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	986,713
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,418,927
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,855
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	377,828
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,164,921
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,531,439
(1) 長期前受金	5,789,678
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,258,239
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,748,827
1 資本金	5,049,163
2 剰余金	7,699,664
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	319,468
負債・資本合計	25,066,473
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	72,416	73,618
資本勘定繰入	18,998	34,216
計	91,414	107,834

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			京都府
市町村・組合名	舞鶴市		
病院名	舞鶴市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	4,671 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	へ
許可公営企業		看護配置	20:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	100	86.3	93.3	97.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	86.3	93.3	97.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	80,336
決算規模(千円)	40,938,914
標準財政規模(千円)	20,557,669
財政力指数	0.66
経常収支比率(%)	89.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.8
将来負担比率(%)	92.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	941,694			
1 経常収益	940,707			
(1) 医業収益	709,363			
(うち修正医業収益)	709,363			
入院収益	625,305			
外来収益	35,305			
診療収入計	660,610			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,753			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	231,344			
(うち国・都道府県補助金)	9,671			
(うち他会計補助・負担金)	188,851			
(うち長期前受金戻入)	26,787			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	987			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	967,128			
2 経常費用	966,741			
(1) 医業費用	931,983			
職員給与費	647,402	91.3	60.2	66.7
材料費	58,256	8.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	24,483	3.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,772	3.8	11.6	9.2
減価償却費	76,147	10.7	9.0	10.4
経費	147,569	20.8	22.5	28.7
(うち委託料)	86,538	12.2	12.5	13.3
研究研修費	2,293			
資産減耗費	316			
(2) 医業外費用	34,758			
(うち支払利息)	12,814	1.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	387			
損益				
経常損益	-26,034			
純損益	-25,434			
累積欠損金	25,434			
経常収支比率	97.3		105.6	105.7
医業収支比率	76.1		85.1	80.6
修正医業収支比率	76.1		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	20.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	77.8		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,539,109
1 固定資産	1,782,251
(1) 有形固定資産	1,745,950
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	36,301
2 流動資産	756,858
(1) 現金及び預金	598,391
(2) 未収金及び未収収益	156,915
(3) 貸倒引当金()	1,463
(4) 貯蔵品	3,015
3 繰延資産	-
負債合計	1,516,644
1 固定負債	1,213,297
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,051,280
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	160,525
(7) 一ス債務	1,492
2 流動負債	164,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,835
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,770
(6) リ一ス債務	426
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,020
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	138,437
(1) 長期前受金	342,531
(2) 長期前受金収益化累計額()	204,094
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,022,465
1 資本金	789,561
2 剰余金	232,904
(1) 資本金剰余金	258,338
(2) 利益剰余金	-25,434
負債・資本合計	2,539,109
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	50,977	188,851
資本勘定繰入	37,049	37,049
計	88,026	225,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	綾部市				
病院名	綾部市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,662 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	206	71.7	70.8	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	71.7	70.8	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.8	17.6

設立団体の状況	
人口(人)	31,846
決算規模(千円)	18,584,257
標準財政規模(千円)	10,292,879
財政力指数	0.49
経常収支比率(%)	87.5
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.8
将来負担比率(%)	98.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,490,611			
1 経常収益	6,490,611			
(1) 医業収益	5,937,288			
(うち修正医業収益)	5,897,620			
入院収益	2,725,324			
外来収益	2,986,095			
診療収入計	5,711,419			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	225,869			
(うち他会計負担金)	39,668			
(2) 医業外収益	553,323			
(うち国・都道府県補助金)	321,670			
(うち他会計補助・負担金)	98,203			
(うち長期前受金戻入)	61,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,609,140			
2 経常費用	6,582,125			
(1) 医業費用	6,461,201			
職員給与費	19,175	0.3	60.2	64.0
材料費	-	-	25.3	19.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.6
減価償却費	404,014	6.8	9.0	9.9
経費	6,009,964	101.2	22.5	28.4
(うち委託料)	1,255	-	12.5	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	28,048			
(2) 医業外費用	120,924			
(うち支払利息)	29,861	0.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	27,015			
損益				
経常	-91,514			
純	-118,529			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.6		105.6	104.2
医業収支比率	91.9		85.1	81.4
修正医業収支比率	91.3		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	2.1		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	2.3		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	2.1		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	96.5		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,499,492
1 固定資産	6,206,244
(1) 有形固定資産	5,603,039
(2) 無形固定資産	1,930
(3) 投資その他の資産	601,275
2 流動資産	2,293,248
(1) 現金及び預金	730,285
(2) 未収金及び未収収益	1,435,673
(3) 貸倒引当金()	27,910
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,023,901
1 固定負債	1,674,445
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,674,445
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	526,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,540
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,381
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	302,917
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	822,618
(1) 長期前受金	1,629,534
(2) 長期前受金収益化累計額()	806,916
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,475,591
1 資本金	3,093,541
2 剰余金	2,382,050
(1) 資本金剰余金	149,382
(2) 利益剰余金	2,232,668
負債・資本合計	8,499,492
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	458,430	137,871
資本勘定繰入	84,084	23,129
計	542,514	161,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	亀岡市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,947 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	100	69.9	71.1	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	69.9	71.1	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.1	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	86,174	
決算規模(千円)	43,247,703	
標準財政規模(千円)	19,982,102	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	75.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,239,268			
1 経常収益	3,237,268			
(1) 医業収益	2,718,410			
(うち修正医業収益)	2,547,687			
入院収益	1,730,024			
外来収益	738,840			
診療収入計	2,468,864			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	249,546			
(うち他会計負担金)	170,723			
(2) 医業外収益	518,858			
(うち国・都道府県補助金)	166,137			
(うち他会計補助・負担金)	254,865			
(うち長期前受金戻入)	14,157			
(うち資本費繰入収益)	74,412			
(3) 特別利益	2,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,193,055			
2 経常費用	3,181,685			
(1) 医業費用	3,012,488			
職員給与費	1,542,969	56.8	60.2	66.7
材料費	849,563	31.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	191,864	7.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	657,699	24.2	11.6	9.2
減価償却費	148,361	5.5	9.0	10.4
経費	468,106	17.2	22.5	28.7
(うち委託料)	281,351	10.3	12.5	13.3
研究研修費	2,159			
資産減耗費	1,330			
(2) 医業外費用	169,197			
(うち支払利息)	38,564	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	11,370			
損益	55,583			
純損益	46,213			
累積欠損金	574,722			
経常収支比率	101.7		105.6	105.7
医業収支比率	90.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	84.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	88.4		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,157,416
1 固定資産	2,622,842
(1) 有形固定資産	2,622,842
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	534,574
(1) 現金及び預金	24,599
(2) 未収金及び未収収益	489,182
(3) 貸倒引当金()	307
(4) 貯蔵品	21,077
3 繰延資産	-
負債合計	3,376,145
1 固定負債	2,476,305
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,322,862
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	153,443
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	703,236
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	319,827
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,713
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	295,096
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	196,604
(1) 長期前受金	285,503
(2) 長期前受金収益化累計額()	88,899
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-218,729
1 資本金	355,993
2 剰余金	-574,722
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-574,722
負債・資本合計	3,157,416
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	218,729
資本不足額(繰延収益控除後)()	22,125
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	425,588	425,588
資本勘定繰入	74,412	74,412
計	500,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立弥栄病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,714 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	199	66.8	66.0	64.1
療養	-	61.2	82.9	83.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	66.6	70.2	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	16.8	17.8

設立団体の状況	
人口(人)	50,860
決算規模(千円)	37,420,626
標準財政規模(千円)	20,961,069
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	90.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.5
将来負担比率(%)	120.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,532,752			
1 経常収益	4,528,429			
(1) 医業収益	3,726,236			
(うち修正医業収益)	3,475,491			
入院収益	1,697,641			
外来収益	1,577,852			
診療収入計	3,275,493			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	450,743			
(うち他会計負担金)	250,745			
(2) 医業外収益	802,193			
(うち国・都道府県補助金)	486,529			
(うち他会計補助・負担金)	263,609			
(うち長期前受金戻入)	33,342			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,323			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,526,806			
2 経常費用	4,524,706			
(1) 医業費用	4,306,134			
職員給与費	1,846,651	49.6	60.2	66.7
材料費	1,052,544	28.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	685,053	18.4	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	336,896	9.0	11.6	9.2
減価償却費	429,484	11.5	9.0	10.4
経費	966,814	25.9	22.5	28.7
(うち委託料)	298,856	8.0	12.5	13.3
研究研修費	7,555			
資産減耗費	3,086			
(2) 医業外費用	218,572			
(うち支払利息)	34,988	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,100			
経常損益	3,723			
純損益	5,946			
累積欠損金	1,848,087			
経常収支比率	100.1		105.6	105.7
医業収支比率	86.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	80.7		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	11.3		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	88.7		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,218,452
1 固定資産	7,817,752
(1) 有形固定資産	7,403,680
(2) 無形固定資産	1,649
(3) 投資その他の資産	412,423
2 流動資産	1,400,700
(1) 現金及び預金	335,206
(2) 未収金及び未収収益	1,075,260
(3) 貸倒引当金()	39,321
(4) 貯蔵品	29,464
3 繰延資産	-
負債合計	8,766,954
1 固定負債	6,248,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,099,352
(2) その他の企業債	143,378
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	5,348
2 流動負債	1,932,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	539,978
(2) その他の企業債	26,265
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	231,174
(6) リース債務	9,291
(7) 一時借入金	760,000
(8) 未払金及び未払費用	349,816
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	585,986
(1) 長期前受金	4,458,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,872,793
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	451,498
1 資本金	1,449,347
2 剰余金	-997,849
(1) 資本剰余金	2,382,811
(2) 利益剰余金	-3,380,660
負債・資本合計	9,218,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	618,314	514,354
資本勘定繰入	101,458	161,171
計	719,772	675,525

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	391,972	6.5
令和元年度	287,092	4.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	141,908
健全化法上の資金不足比率(%)	2.2
地財法上の資金不足額(千円)	141,908
地財法上の資金不足比率(%)	2.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	京丹後市		
病院名	京丹後市立久美浜病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	9,602 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	110	80.5	74.0	87.5
療養	60	78.0	76.2	85.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	79.6	74.7	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.5	12.9

設立団体の状況	
人口(人)	50,860
決算規模(千円)	37,420,626
標準財政規模(千円)	20,961,069
財政力指数	0.29
経常収支比率(%)	90.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	12.5
将来負担比率(%)	120.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,957,405			
1 経常収益	2,954,405			
(1) 医業収益	2,577,720			
(うち修正医業収益)	2,387,053			
入院収益	1,489,502			
外来収益	798,844			
診療収入計	2,288,346			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	289,374			
(うち他会計負担金)	190,667			
(2) 医業外収益	376,685			
(うち国・都道府県補助金)	99,103			
(うち他会計補助・負担金)	205,247			
(うち長期前受金戻入)	36,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,946,647			
2 経常費用	2,935,870			
(1) 医業費用	2,826,576			
職員給与費	1,709,087	66.3	60.2	66.7
材料費	313,277	12.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	106,242	4.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	164,602	6.4	11.6	9.2
減価償却費	131,862	5.1	9.0	10.4
経費	663,316	25.7	22.5	28.7
(うち委託料)	306,892	11.9	12.5	13.3
研究研修費	7,808			
資産減耗費	1,226			
(2) 医業外費用	109,294			
(うち支払利息)	20,218	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	10,777			
損益	18,535			
純損益	10,758			
累積欠損金	1,532,573			
経常収支比率	100.6		105.6	105.7
医業収支比率	91.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	84.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	13.4		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	87.1		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,218,452
1 固定資産	7,817,752
(1) 有形固定資産	7,403,680
(2) 無形固定資産	1,649
(3) 投資その他の資産	412,423
2 流動資産	1,400,700
(1) 現金及び預金	335,206
(2) 未収金及び未収収益	1,075,260
(3) 貸倒引当金()	39,321
(4) 貯蔵品	29,464
3 繰延資産	-
負債合計	8,766,954
1 固定負債	6,248,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,099,352
(2) その他の企業債	143,378
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	5,348
2 流動負債	1,932,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	539,978
(2) その他の企業債	26,265
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	231,174
(6) リリース債務	9,291
(7) 一時借入金	760,000
(8) 未払金及び未払費用	349,816
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	585,986
(1) 長期前受金	4,458,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,872,793
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	451,498
1 資本金	1,449,347
2 剰余金	-997,849
(1) 資本剰余金	2,382,811
(2) 利益剰余金	-3,380,660
負債・資本合計	9,218,452
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	427,910	395,914
資本勘定繰入	118,692	187,187
計	546,602	583,101

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	391,972	6.5
令和元年度	287,092	4.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	141,908
健全化法上の資金不足比率(%)	2.2
地財法上の資金不足額(千円)	141,908
地財法上の資金不足比率(%)	2.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	精華町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,910 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	87.6	89.2	92.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	87.6	89.2	92.5
平均在院日数(一般病床のみ)		37.6	50.1	39.3

人口(人)	36,198
決算規模(千円)	15,464,211
標準財政規模(千円)	9,166,297
財政力指数	0.73
経常収支比率(%)	91.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.8
将来負担比率(%)	55.1

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,528			
1 経常収益	31,528			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	31,528			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13,485			
(うち長期前受金戻入)	17,340			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	44,372			
2 経常費用	44,372			
(1) 医業費用	44,371			
職員給与費	8,535	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	30,191	-	9.0	11.4
経費	5,645	-	22.5	31.5
(うち委託料)	4,609	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	71.1		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	42.8		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	42.8		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	40.7		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

区分	決算額
資産合計	542,545
1 固定資産	528,204
(1) 有形固定資産	527,720
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	14,341
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	3,538
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	296,794
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	799
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,538
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	292,457
(1) 長期前受金	785,407
(2) 長期前受金収益化累計額()	492,950
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	245,751
1 資本金	77,450
2 剰余金	168,301
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	168,301
負債・資本合計	542,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277	13,485
資本勘定繰入	-	-
計	277	13,485

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹波町				
病院名	国保京丹波町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	47	57.3	55.4	56.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	57.3	55.4	56.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.1	20.5	19.8

設立団体の状況	
人口(人)	12,907
決算規模(千円)	13,620,348
標準財政規模(千円)	7,103,325
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	86.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	16.8
将来負担比率(%)	98.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	971,641			
1 経常収益	971,641			
(1) 医業収益	655,230			
(うち修正医業収益)	620,633			
入院収益	274,417			
外来収益	282,957			
診療収入計	557,374			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	97,856			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	316,411			
(うち国・都道府県補助金)	30,838			
(うち他会計補助・負担金)	256,164			
(うち長期前受金戻入)	12,869			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	952,360			
2 経常費用	952,360			
(1) 医業費用	917,157			
職員給与費	592,853	90.5	60.2	86.6
材料費	56,145	8.6	25.3	12.9
(うち薬品費)	30,538	4.7	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,861	2.9	11.6	5.1
減価償却費	66,465	10.1	9.0	12.7
経費	199,275	30.4	22.5	43.7
(うち委託料)	127,982	19.5	12.5	21.5
研究研修費	249			
資産減耗費	2,170			
(2) 医業外費用	35,203			
(うち支払利息)	6,473	1.0	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	19,281			
純損失	19,281			
累積欠損金	356,875			
経常収支比率	102.0		105.6	102.4
医業収支比率	71.4		85.1	63.8
修正医業収支比率	67.7		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	29.9		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	44.4		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	29.9		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	71.5		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,851,585
1 固定資産	1,386,033
(1) 有形固定資産	1,357,584
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	28,449
2 流動資産	465,552
(1) 現金及び預金	351,824
(2) 未収金及び未収収益	111,587
(3) 貸倒引当金()	2,607
(4) 貯蔵品	4,748
3 繰延資産	-
負債合計	656,876
1 固定負債	350,408
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	350,408
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	109,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,741
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,886
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,404
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	197,437
(1) 長期前受金	412,998
(2) 長期前受金収益化累計額()	215,561
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,194,709
1 資本金	1,513,378
2 剰余金	-318,669
(1) 資本剰余金	32,516
(2) 利益剰余金	-351,185
負債・資本合計	1,851,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	288,599	290,761
資本勘定繰入	22,259	22,259
計	310,858	313,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合		
病院名	京都中部総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,447 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	450	71.1	69.6	73.0
療養	-	-	-	-
結核	10	-	3.6	6.7
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	464	69.0	67.5	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.8	15.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,968,160			
1 経常収益	11,968,160			
(1) 医業収益	10,596,700			
(うち修正医業収益)	10,446,700			
入院収益	6,810,297			
外来収益	3,412,173			
診療収入計	10,222,470			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	374,230			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,371,460			
(うち国・都道府県補助金)	582,175			
(うち他会計補助・負担金)	257,030			
(うち長期前受金戻入)	47,891			
(うち資本費繰入収益)	291,034			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,381,925			
2 経常費用	11,381,925			
(1) 医業費用	10,613,178			
職員給与費	5,273,954	49.8	60.2	57.5
材料費	2,561,142	24.2	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,133,612	10.7	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,427,530	13.5	11.6	12.6
減価償却費	504,217	4.8	9.0	8.1
経費	2,241,328	21.2	22.5	19.1
(うち委託料)	1,269,304	12.0	12.5	10.0
研究研修費	24,991			
資産減耗費	7,546			
(2) 医業外費用	768,747			
(うち支払利息)	49,405	0.5	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	586,235			
純損益	586,235			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.2		105.6	105.7
医業収支比率	99.8		85.1	88.4
修正医業収支比率	98.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	3.4		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	3.4		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	101.6		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,452,628
1 固定資産	10,893,353
(1) 有形固定資産	8,957,499
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,935,854
2 流動資産	5,559,275
(1) 現金及び預金	2,956,179
(2) 未収金及び未収収益	2,586,214
(3) 貸倒引当金()	22,615
(4) 貯蔵品	35,308
3 繰延資産	-
負債合計	7,056,716
1 固定負債	3,617,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,617,658
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	2,222,082
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	575,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	575,250
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	994,898
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,216,976
(1) 長期前受金	2,255,291
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,038,315
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,395,912
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	1,656,924
(1) 資本金剰余金	1,002,716
(2) 利益剰余金	654,208
負債・資本合計	16,452,628
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	744,557	407,030
資本勘定繰入	291,034	291,034
計	1,035,591	698,064

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合		
病院名	京都山城総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,992 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	311	67.8	67.2	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	62.7	37.6	0.6
計	321	67.6	66.3	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	13.3	13.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,717,315			
1 経常収益	8,715,676			
(1) 医業収益	7,398,921			
(うち修正医業収益)	7,344,343			
入院収益	4,429,838			
外来収益	2,655,503			
診療収入計	7,085,341			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	313,580			
(うち他会計負担金)	54,578			
(2) 医業外収益	1,316,755			
(うち国・都道府県補助金)	680,945			
(うち他会計補助・負担金)	299,330			
(うち長期前受金戻入)	145,594			
(うち資本費繰入収益)	112,217			
(3) 特別利益	1,639			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,363,848			
2 経常費用	8,310,032			
(1) 医業費用	7,895,597			
職員給与費	3,960,487	53.5	60.2	60.7
材料費	2,006,986	27.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,075,020	14.5	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	878,659	11.9	11.6	11.7
減価償却費	476,132	6.4	9.0	9.2
経費	1,437,828	19.4	22.5	21.2
(うち委託料)	667,119	9.0	12.5	11.9
研究研修費	8,838			
資産減耗費	5,326			
(2) 医業外費用	414,435			
(うち支払利息)	71,194	1.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	53,816			
損益	405,644			
純損益	353,467			
累積欠損金	358,696			
経常収支比率	104.9		105.6	106.9
医業収支比率	93.7		85.1	85.8
修正医業収支比率	93.0		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	4.1		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	100.6		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,699,004
1 固定資産	6,806,077
(1) 有形固定資産	6,419,032
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	386,417
2 流動資産	2,892,927
(1) 現金及び預金	1,462,059
(2) 未収金及び未収収益	1,329,878
(3) 貸倒引当金()	1,084
(4) 貯蔵品	102,074
3 繰延資産	-
負債合計	5,794,737
1 固定負債	3,013,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,005,023
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	8,916
2 流動負債	1,462,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	629,563
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	263,093
(6) リ一ス債務	1,769
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	534,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,317,908
(1) 長期前受金	2,776,453
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,458,545
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,904,267
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	-358,696
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-358,696
負債・資本合計	9,699,004
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	587,267	353,908
資本勘定繰入	382,534	272,800
計	969,801	626,708

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。